

会長	副会長	幹事長	局長	次長	主 幹	係長	主係

第6回神崎町・大河内町合併協議会 新町建設計画小委員会会議録

開会日時 平成16年7月3日(土) 午前9時

場 所 神崎町ケーブルテレビネットワーク局舎

神崎町・大河内町合併協議会

神崎町・大河内町合併協議会小委員会委員名簿

第2小委員会（新町建設計画小委員会）

協議会委員関係分

	氏 名	区 分	分 科 会	備 考	出 欠
1	奥 野 恒 夫	第2号委員	総務文教	神崎町	出
2	高 内 直 喜	"	産業建設	大河内町	出
3	井 上 秀 男	第3号委員	民生福祉	神崎町	出
4	岩 本 精 介	"	"	大河内町	出
5	尾 上 徳 美	"	"	神崎町	出
6	上 垣 博	"	産業建設	大河内町	出
7	高 橋 勝 洋	"	総務文教	神崎町	出
8	立 岩 三代子	"	産業建設	大河内町	出
9	日 和 貞 憲	"	民生福祉	大河内町	出
10	中 山 祐美子	"	総務文教	神崎町	出
11	廣 納 正	"	産業建設	神崎町	出
12	藤 原 博 一	"	総務文教	大河内町	出
13	藤 原 鉄 也	"	"	神崎町	出
14	藤 原 安 晴	"	民生福祉	大河内町	欠
15	堀 口 勝 久	"	産業建設	神崎町	出
16	松 山 陽 子	"	民生福祉	大河内町	出

町長指名委員関係分

	氏 名	分 科 会	備 考	出 欠
1	児 島 英 雄	総務文教	大河内町	出
2	大 仲 正 記	"	"	出
3	大 谷 郁 雄	産業建設	"	出
4	小 寺 敏 樹	"	"	出
5	山 下 和 彦	総務文教	"	出
6	大 中 康 寛	"	"	欠
7	井 上 隆 弘	産業建設	神崎町	欠
8	西 畑 強	"	"	出
9	奥 野 恵 作	"	"	出
10	坂 田 篤 彦	民生福祉	"	出
11	難 波 義 博	"	"	出
12	藤 原 日 順	総務文教	"	欠

会 議 録

会議の名称	神崎町・大河内町合併協議会新町建設計画小委員会	
開催日時	平成16年 7月 3日(土) 開会 9時00分 閉会 11時00分	
開催場所	神崎町ケーブルテレビネットワーク局舎	
議長氏名	井上秀男	
出席者氏名	別紙「出席者名簿」のとおり	
欠席者氏名	別紙「欠席者名簿」のとおり	
会議事項	<p>1 意見交換</p> <p>(1) 前回意見交換の再提案</p> <p>(2) 新町における主要施策</p>	<p>2 会議結果</p>
会議の経過	別添のとおり	
会議資料	別添資料あり	

会 議 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
内藤（事務局長）	<p>早朝よりお繰り合わせの上、ご出席賜りましてまことにありがとうございます。本日は第6回の新町建設計画の小委員会でございます。よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、早速でございますが、委員長からごあいさつをいただきます。</p>
井上（委員長）	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>早朝からご苦勞さんでございます。本日は、第6回の新町建設小委員会を開催をさせていただきました。月初めということでありまして、また最初の週末ということで、何かと委員の皆さん方にはご予定はあったかと思ひますけれども、お繰り合わせいただきましてのご出席、まことにありがとうございます。</p> <p>また、この会も6回を数えるようになってまいりました。その都度、委員の皆さん方の格別のご支援とご協力をいただきまして、今日の日を迎えております。今後ともよろしくお願ひを申し上げたいと、かように思ひます。</p> <p>今日は、既に皆さん方のお手元の方に事前に資料が配付をされております。その委員会日程に従ひまして会議を進めてまいりたいと、かように思ひますので、よろしくご協力のほどお願ひ申し上げまして、一言ごあいさつといたします。どうも皆さんご苦勞さんでございます。ありがとうございます。</p>
内藤（事務局長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>なお、本日の委員さんで藤原日順委員さん、井上隆弘委員さん、藤原安晴委員さん、以上3名の委員さんから欠席の報告をいただいておりますので、ここでご報告を申し上げます。</p> <p>また、パシフィックコンサルタンツの千田さんにもご出席をいただいております。</p> <p>それでは、委員長、進行をよろしくお願ひいたします。</p>
井上（委員長）	<p>それでは、早速でございますが、議事に入りたいと思ひます。</p> <p>本日の委員会は、28人中欠席届が1名ございました。あと一名、今まだ出席をされておられないということでございますので、委員24名の出席をいただいております。会議規則の定足数に達しております。よって、会議は成立をいたします。</p> <p>なお、今回につきましても、慣例に従ひまして、発言の際は町名と氏名をお願ひをいたしたいと思ひます。</p> <p>そして、本日の会議の進め方でございますが、まず前回の小委員会ではまちづくりの課題、合併の必要性、新町建設の基本方針につま</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
吉岡（事務局）	<p>して、事務局の説明の後、委員の皆さんからいろいろのご意見をいただきました。このことにつきましては、表現を修正したり具体的内容まで掘り下げいたしまして、見直しの上、事前に皆さん方に事務局から配付をいただいております。そこで、再度これにつきまして意見交換をいただくことといたしております。よくお目通しをしていただいておりますので、積極的なご意見をお願いをいたしたいと思っております。</p> <p>それでは、まずまちづくりの課題につきましての変更箇所を主体に、事務局の説明をお願いいたします。</p> <p>事務局、お願いいたします。</p> <p>どうも失礼いたします。それでは、座って説明をさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>3番のまちづくりの課題っていう24ページになる部分なんですけども、前回の小委員会でもこの3、まちづくりの課題につきましては貴重なご意見をいただきましたが、あくまでこの章につきましてはまちづくりの課題のみの提示ということで、解決策といいましょうか、それにつきましては後ほど出てまいります大きな項目4番の新町における主要施策で対応するというのが基本スタンスでございます。その大きな項目4の新町における主要施策につきましては、本日後ほど説明をさせていただく予定になっておりますが、レジュメにも載っておりますが、次回ワークショップ形式で主要施策について、皆様方、そして事務局で知恵を絞って具体案を考え、出し合って議論しようという形になってまいろうかというふうに思っております。</p> <p>そして、いよいよ3、まちづくりの課題なんですけども、これすべて読んでおりましたら時間ばかり経過しますから、特に修正とか増えた部分について説明をさせてもらって、それで提案にかえさせてほしいと思うんですけども。今回は文章で、文章表現主体で出しておりました。今回につきましては、全面改定をして構成を変えようということで、ひし形マークを使ったり黒点を使ったりということでアクセントをつけました。そして、四角囲みの部分につきましては、これらの課題の改善のための方向性について出しています。前回から変わったところのみの説明をさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>1)の自然環境と調和した地域産業の振興というところで、 番、自然環境の維持管理でございます。ここで黒点2つある中の、黒点が3つある分と黒点が2つある分がありますが、その中で黒点が2つの方の下側の方、ダムの水量調整が本来河川が有する自浄機能の低下につ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ながっていますというところで、この文言をつけ加えをさせていただいたということでございます。</p> <p>次、 番につきましてはほぼ同様、第1次産業の振興・担い手確保については前回とほぼ同様です。</p> <p>次に、 番、新たな基幹産業の育成ということで、ここで新しく項目を前回から変えたところで、新しく項目を起こしたということでございます。中身等についてはほとんど同様でございます。</p> <p>25ページに参りまして、 番、観光資源の魅力化や連携による交流の促進ということで、これもアクセントを、ひし形マークをつけたりしてアクセントをつけただけで、特に大きな変更点はございません。</p> <p>次の方に入りまして、2)番、豊かさ・生きがい・安らぎが感じられる生活環境の創造でございます。</p> <p>これは、高齢者の自立を支えようという観点については前回と同様でございます。ひし形マークのアクセント部分で、3つ目のひし形のところで、これは特にワークショップの意見とかをつけ加えさせていただきました。公共交通の運行本数・ルート of 少なさや公共施設・空間における段差の存在、さらには高齢者の活躍の場が少ないことや、地域住民の理解不足などがその要因となっていますというところで、この分をワークショップの方から意見が出てきたということでつけ加えさせていただきました。</p> <p>次に、 番、若者層の定住を促進する環境づくりということで、ここも内容的には前回とほぼ同様でございます。都市部にはない恵まれた自然環境のよさというものを、新町の自然環境のよさというのを強調をさせていただいたということでございます。</p> <p>次、26ページなんですけども、すべての人の安全・安心の確保ということで、ここも中身的には前回と一緒にですが、ここで最初のひし形の救急体制や防災体制が弱いことに加え、住民の防災に対する意識が低い状況にありますという中の黒点の3つ目で、近年大きな災害に遭遇しておらず、住民の危機感が低くなってきていますという、これもワークショップから出た意見を追加で入れさせていただいてます。</p> <p>次に参りまして、3)の地域への愛着を持ち、地域社会をともに支える人づくりということで、これはほとんど前回と同じ内容でございます。アクセントをつけさせていただいたということです。</p> <p>次に、 の住民の主体的なまちづくりへの参画ということで、これ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>前回とほぼ内容は同じなんですけども、今後こういった自立したまちづくりというのは大変重要なことだと思いますんで、おさらいの意味も込めまして、朗読をさせてほしいなというふうに思います。</p> <p>ひし形の1つ目、集落単位での住民参画、自治組織は機能しているものの、町全体にかかわる案件に対する住民参加が機能していない状況にあります。黒点、財政的制約、人的制約等により、集落活動にも地域による格差が見られます。黒点の2つ目、さまざまな地域課題に、行政内部の取り組みだけでこたえていくのは困難な状況にきています。</p> <p>ひし形の2つ目、住民が町全体のまちづくりについての関心が低いことが要因として挙げられます。黒点としまして、行政主導のまちづくりが進められてきたことで、各地域への働きかけが不足しています。</p> <p>ひし形最後なんですけど、広域的な問題に対して意見を集約できる組織・仕組みがないことも要因となっていますということで、四角囲みで解決への方向性ということで、広域的な問題に対する住民の独自性のある活動を促進するため、行政がアドバイザー役となって、まちづくりへの参加の必要性に関する広報・意識啓発を図るとともに、各地域・集落等における活動の活性化・標準化のための仕組みづくりを行うことが必要ですということで、ワークショップでは権限移譲についても出ました。</p> <p>これは、また後ほど説明になると思うんですけども、B4判の横長の説明要旨をつけてます。こういうワークショップをやりますという本日の説明要旨、その施策のキーワードがありまして、その下から8行目の部分、ここに権限移譲ということで、行政から町民に対しての権限移譲もどうかということで、そこで記載をさせてもらっております。</p> <p>次、27ページ、子どもたちの教育に係る学校・家庭・地域の連携ということで、これも前回とはおおむね同じような内容でございます。追加させていただいてますのはひし形の真ん中、教育レベルの低下や人間形成への影響が懸念されますという中の2つ目の黒点のところで、ワークショップの意見から、これ引いたんですけども、子どもたち同士の体を使った遊び、体験の機会が少なくなっていますということで、テレビゲーム漬けである状況とかといったことで、外での遊びということを強調しようかなということで入れさせていただいております。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>以上で、非常に雑駁やったんですけども、（３）のまちづくりの課題についての修正点及び補強した部分について説明をさせていただきました。どうもありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま説明がありましたまちづくりの課題につきましてのご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>どなたか。</p> <p>どうぞ。</p>
坂田委員	<p>神崎町の坂田です。</p> <p>前のときから比べたら結構わかりやすく整理されてきとると、このように思います。ぱっと見させていただいたんですけども、ただ表現が、中身はもうほとんどこれでええと思うんですが、行を箇条書きにまとめてきた関係で、どうも表現を端的にした嫌いがあって、例えば24ページでしたら自然環境の維持管理のとこの、たくさん言いよったら切りがないんで、三角の下のとこのダムの水量の調整が云々と書いてあるところですけども、全くそのとおりなんですけども、最後のところで、浄化機能の低下につながっていると、ぽんとこれ言い切つてるわけです。その下のところは低下にもつながっていると、水源涵養、にもというふうに入っていることがちょっと和らげているけども、こういう端的にぽんと言うてしまっているところは、ほかに、その下の1次産業の担い手も、採算性が確保できなくなっていますというふうになんかちょっと紋切りの言葉になっているところがちょっと気にかかりますんで、もうちょっと実態に合わせて、そういう懸念されるなら懸念されると。言い切ってしまうというのは、今まで安全のところについても、どこでしたかな、26ページなんかのところでも、はっきりと何か表現が、三角印の上から2つ目ぐらいですか、若年層を初めとする昼間人口の減少や、ここはもう減少しとるような書き方ですけども、事実だと思んですけども、設備・施設の不足などが要因として考えられますと。ただ、設備や施設の不足というのは、今まで取り組んできた、両町ともですけれども、どういうふうにならなくてんのやと、一生懸命取り組んできてなかったのかと、こういうことになるんで、やっぱり不足してる部分はあると思うんですよ、現実の話として。だから、充実するのは時代に応じた新しい設備とか、そういうものは防災に関しては必要だと思うんで、やはりそういうところは必要性があるんで、やっぱりそういう時代に合っていない設備というもんもあると思うんで、ひょっと表現をもうちょっと、今まで苦労してい</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ろいる取り組んできた結果を、何かもうあかんのや、あかんのやと、こういうふうな、ほかにもたくさんそういう、26ページ一番下の四角のこの上でも、仕組みがないことも要因となっていますと、その広域的な問題に対して要因やというて一言で言い切ってしもうとるとするのはちょっと表現的に、それほかのここにも若干そういうところが、気にかかるような表現があつてますんで、もうちょっとその辺を実態に合わせた見直しをしていただいたらと、このように思いますけど。</p> <p>以上です。内容的には何らわかるんですけども、補足説明が必要になってくるんで、まして基幹産業とは何ぞやとぽつと出てきますんで、そういうところも基幹産業の育成、基幹産業がどういうふうに変退して、1次産業がどうのこうのというのは今までもずっと言うてきてるけども、農村や農業、林業についての、ただし今ここで基幹産業は育っていませんと、こういうふう言い切ってるというのは、ちょっとどない言うかな、勇み足的な表現とちがうかなと、こういうふう思うんです。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
上垣委員	<p>ちょっとお願いがあるんですけども、今回のように補足、修正箇所をわかりやすくするためにですけど、罫線、いわゆるアンダーライン等を下に入れてもらったらどうかなという気がしております。これは私の思いですけども、いかがでしょうか。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
松山委員	<p>大河内町の松山です。</p> <p>先ほど神崎町の坂田さんが言っておられた文章的な表現のこの一つになるかと思うんですけども、課題というのが一番最初に出てくると思うんですね。24ページの自然環境の維持管理のところについても、最初のひし形辺で課題という形で上げられてますけど、その次のひし形は要因というふうな形の文言で書かれていると。課題と要因というのが同じひし形で表示されてると、ちょっと見にくい部分があるかなということもあります。</p> <p>それと、それから26ページになるんですけども、3番の地域への愛着を持ちというところのスポーツ促進のところなんですけど、最初のひし形のところは、これは課題なんですか。スポーツクラブ2</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
<p>井上（委員長）</p> <p>高内委員</p>	<p>1 なんかも活発に行われていますという言葉の表現でくくられてるの って、これは課題なのかな、どうなのかなというふうに感じ取りまし た。</p> <p>それと、その下の四角でくくってある部分なんですけど、これはもう 言葉の表現で、これでいいのかどうか私もわからないんですが、1行 目のわざわざ利用したくなるようなところ、わざわざという のが、進んでという言葉の方が何かしっくりするんじゃないかなと。 だから、無理してでもというふうな言葉にされるかなと思うんですけ れども。</p> <p>それと、2行目の老朽化施設についてというの、その利用につい てのことも書いてあるんですけども、その老朽化施設という言葉 は、施設でしたらもう改築とかつぶすとかってというふうな形でないと 利用できなくなるということだと思ってるので、空き施設というか、そう いった言葉に直された方がいいんじゃないかなというふうに感じ取り ましたし、それから幼児施設という言葉でくくっておりますが、これ 幼児だけではなく、幅広い方の利用ができるような施設についていう ふうな形で考えてもらった方が、利用価値が広がるんじゃないかなと いうふうに思いました。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>大河内の高内といいます。</p> <p>25ページの高齢者が生きがいを持って生活し続けられる環境づく りの中の2つ目のひし形に、大半の健康で元気な高齢者の地域とのか かわりが少ない状態がありますとあるんですが、これは私はちょっと 逆じゃないんかと思うんですけど、この表現は。ということは、少子 高齢化の時代で、地域と、どの辺を地域までとらえられるかはわかり ませんが、仮に集落なんかのことになりますと、ほとんどがこう いった方、元気な方が出てこられて、やっぱり地域を支えておられる のが今の現状じゃないかと、このように思いますんで、ちょっとこの 辺の文言がどうかというふうに感じてます。特に、高齢化社会が今 まだますますここ何年かは続く状況なんで、やはり元気な高齢者が地 域と携わっておられるということは間違いのないんじゃないかなと思っ ております。体の調子の悪い方とかそういう方は別として、大半の方 は高齢化の進んだ地域でも、そういった方が地域を支えられておると いうことが事実じゃないかなと、そのように思いますんで、ちょっと</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>この辺はどうかと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ほかに意見がないようですので、次に合併の必要性について、事務局よりお願いをいたしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
吉岡（事務局）	<p>そしたら、28ページに入らせていただいて、大きな項目の2番、合併の必要性ということで説明させていただきたいと思います。</p> <p>先ほどご指摘もありましたように、この2番目については大きく修正をしておりますので、アンダーラインで変わった部分については表示をさせていただいてます。余りにも大幅に変わってますので、これほとんど朗読にかえて提案ということにさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>まず、（1）合併の必要性・社会背景ということで、これまで見てきたように、神崎町、大河内町を含め、全国の多くの自治体では、人口減少や少子高齢化に伴う地域活力の低下、産業の低迷など、さまざまな課題に直面しています。また、地方分権が実行の段階を迎える中で、今後はこのような課題に対し、市町村の自主性・主体性のもと対応していくことが求められており、現在国においても自治体の自立、財政基盤の強化を目的とした「三位一体改革」が進められていますということで、よく出てまいります三位一体改革でございますが、ここにアスタリスクを入れさせていただいて、29ページに三位一体の改革、これについての説明を、簡略してありますが、つけ足していただいております。</p> <p>1つには、国から地方への税源移譲、2つには国庫補助金の削減、3つ目には地方交付税の見直しということでございます。1つ目の国から地方への税源移譲につきましては、平成16年度は約6,500億円、国レベル、全国レベルで6,500億円国から地方へ税源がありますよということです。2番目の国庫補助金の削減ということで、16年度、本年度につきましては約1兆円の削減が予定をされておりますよ、国から地方への全国レベルの話です。そして、地方交付税の見直しなんですけども、これが一番大きいとは思いますが、平成16年度は全国レベルとしまして約3兆円の減額ということで、これは新聞報道等で皆さんご存じだとは思いますが、非常に大きなことですんで、ここに上げさせて、説明をつけ加えさせていただいております。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ます。</p> <p>本文に戻りまして、しかし、両町ともに財政状況は極めて厳しい状況にあり、「三位一体改革」における地方交付税の削減等がこれまで以上に進めば、これまで行ってきた行政サービスが維持できなくなる状況も考えられます。このような社会環境の変化を踏まえ、両町が合併を行う背景を以下に示します。</p> <p>１) 地方分権社会への対応。</p> <p>平成１２年４月に地方分権一括法が施行され、地方分権の推進に向けたさまざまな動きが活発化しています。今後は、住民に最も身近な行政である市町村が、経費の削減と住民ニーズを踏まえたサービスの提供という根源的な行政課題への対応を行いながら、創意と工夫による自主的・主体的な施策を実施していくことが求められています。</p> <p>両町においても、これまで国や県の責任であった権限の移譲が進めば、これまで以上に専門性の高い政策立案能力の強化や、そのために必要な職員の確保・育成が求められるとともに、みずから事業を実施していくための安定した行財政基盤の確立が求められています。</p> <p>また、創意・工夫による自主的・主体的な施策の展開に向けては、職員資質の向上とともに、地域住民との協働による取り組みが不可欠となります。そのため、住民の意向把握や主体的なまちづくり活動の支援にこれまで以上に努めるとともに、戦略的な専門職員の育成や積極的な部局間連携など、各施策の推進に向けた行政組織・体制の強化を図ることが求められています。</p> <p>２) 番、広域的課題への対応。</p> <p>兵庫県のほぼ中央部に位置する両町は、市川及びその支流沿いに広がる平地部で地理的につながっており、これまでも神崎郡としてのつながりや、播但連絡道路やＪＲ播但線等の道路・交通条件の整備による、文化、経済、生活、医療等各方面での深い結びつきを有しており、生活圏の一体化が強まっています。</p> <p>また、行政面においても、消防、医療・福祉、ごみ処理を初め、さまざまな分野で協力関係を構築し、効率的な広域行政を進めてきました。しかし、共同で取り組むべきものの中には、前述したような自然環境の維持管理や地域産業の振興、さらには観光・交流の促進等、広域で取り組んでいく方が効果的な新たな課題が増加してきています。</p> <p>こうした生活圏の一体化への対応やこれまでの広域行政の取り組みを、より効果的なものとするとともに、新たな広域的課題に的確に対応していくための組織・体制づくりや、重点的な投資が求められてい</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ます。</p> <p>29ページに入りまして、3) 少子高齢化、人口減少への対応。</p> <p>両町ともに、県平均を上回るペースで高齢化が進んでいます。今後高齢化が一層進めば、保健・福祉・医療分野のみならず、高齢者が暮らしやすい地域づくりや、安全・安心の確保に向けた各種取り組みの強化が求められ、行政経費の増加も予想されます。</p> <p>一方、若年層の減少が進むことで、税収が減少するだけでなく、災害発生等非常時における防災力の低下、さらには少子化に拍車をかけることから、子どもに対する地域としての教育力の低下等も懸念されています。</p> <p>このような状況への対応として、ハード面では、合併に対する特例的な財政支援策を活用した生活基盤の整備や、若年層の就業の場となる産業基盤の整備充実を図るとともに、ソフト面では集落の再編や人材の育成等による地域コミュニティの強化、基幹産業の育成に主体的に取り組む組織の強化等が求められています。</p> <p>最後、4) 厳しい財政状況への対応。</p> <p>両町においては、人口の減少に加え、景気回復についても現状においては非常に不透明な情勢にあることなどから、町税を初めとする自主財源についての増加が見込みにくい状況にあります。</p> <p>そのため、今後も国からの交付金等にかかなりの部分を依存することが想定されますが、国の財政状況は極めて厳しく、これまで同様の国からの財政支援等を期待できない状況です。</p> <p>行政経費の削減に向けては、既往の施策やサービスに関する優先順位を見直し、限られた財源の適正配分、職員定数の適正化を図りながら、効率的・効果的な行政サービスが行える仕組みを構築していくことが必要です。また、充実した既存公共施設のストックを十分に活用した、住民ニーズに応じた柔軟な施設運営を図っていくことが求められていますということです。</p> <p>続きまして、30ページの方に入らせていただいて、合併の効果と課題ということでございます。ここは、特にアンダーラインの入っている部分だけでとどめさせていただきたいなと思います。</p> <p>最初の部分で、合併の必要性・社会背景を踏まえてという、社会背景というのを入れさせていただいております。</p> <p>1) 観光・交流の促進が期待されますということで、考えられる効果ということで、真ん中の黒点のところで、兵庫県の中央部というふうに変更をしています。少し進みますと、中山間地域の振興や都市地域</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>との交流の要所としての役割を果たすことが期待されますというふう に修正をしております。そして、黒丸の一番最後、特例債となつた んですが、合併特例債の活用により、両町の一体化や観光ルートの 構築のために必要な基盤への重点投資も考えられますと。</p> <p>次に、効果を発揮するための課題ということで、観光ルートとして の魅力を創出するためには、観光ターゲットを見定めた各観光施設・ メニューの特色化と、より積極的なPRを図っていく必要があります 。新町内だけでなく、周辺市町も含めた観光ルートづくりなど、広 域連携の促進を図っていく必要があります。</p> <p>2) 番、農業・林業に係る広域的な取り組みの促進や、新しい産業 の創造が期待されます。</p> <p>考えられる効果というところで、従来からの地域基幹産業である農 業・林業の再生、さらにはその基盤である山林や農地の保全に向け、 より効率的な作業体制の構築や地域特産品の開発、担い手組織の強化 等が期待されます。</p> <p>大きくつけ加えをして、農業・林業を柱に、加工業、商業、観光業 といった産業間の連携の幅が広がり、新しい基幹産業の創造に向けた 体制・組織の強化が期待をされますということです。</p> <p>下側です。効果を発揮するための課題ということで、真ん中のとこ でつけ加えをしております。山林や農地等の維持管理に向けては、そ れらの有する価値を評価し、新町内だけでなくより広域的な視点で担 い手を確保していくことが必要です。</p> <p>下側に移りまして、地域内の良好な経済循環を創造していくため の、産業間を横断した取り組みが必要ですよということです。</p> <p>次のページへ移りまして、3、コンパクトなまちの形成による効率 的な公共投資、効果的な人員・施設配置が可能になりますということ で、ここで直しているのが、効果を発揮するための課題の欄で、この 四角囲みのところで、下側の黒丸なんですが、常に住民のニーズを把握 し、行政施策・事業の優先順位を判断するためのシステムづくりが必 要です。また、施策によっては、住民・事業者等の連携による推進を 図っていくことが必要ですよというふうに追加をしております。</p> <p>4番、規模の拡大や集落の再編等により、地域社会を支える自立心 の高い人材・組織の育成が期待されますということで、考えられる効 果としまして、一番最初の黒丸のところで、子ども同士の交流機会が増 え、学力向上や豊かな人間性育成への寄与が期待されますというふう につけ加えをしております。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>次、下側の黒丸で、集落の再編等により、自立性の高い自治組織の立ち上げや、地域コミュニティ活動の活性化が考えられますということです。</p> <p>一番下側で、環境問題などにより広域的な課題に対して意見を集約し、対策に取り組む組織や仕組みの構築が期待をされますということで、アンダーラインが入っている部分、これについて修正とか補強とかということで変更をさせていただいております。</p> <p>以上でございます。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局から修正箇所のアンダーラインのところを中心に説明をいただきました。この点につきましてご意見をお願いをいたしたいと思います。</p>
山下委員	<p>はい、どうぞ。</p> <p>大河内町の山下ですけども、合併の必要性っていうところで、まずそのそれぞれ1番、地方分権社会への対応、2番、広域的課題への対応ということで順番づけされてるわけなんですけども、これは重要性からかんがみてこの順番は出てきたものなのかどうかということがまず1点。</p> <p>それと、これに対する回答という形で、30ページにその効果と課題ってのが出てきてると思うんですけども、もしこれ表記される場合でしたらそれぞれ順番に、対応した順番で、地方分権社会への対応ということであれば3番のコンパクトなまちの形成によるというふうに、それぞれ順番づけて表記された方がわかりやすいようになるんじゃないのかなと思うんですけど、その点いかがでしょうか。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>後で一括して回答させていただきます。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
藤原（博）委員	<p>大河内町の藤原でございますが、31ページの4)の考えられる効果の枠内でございますけれども、2つ目の黒丸で集落の再編等によりというのが、前と同じなんでございますけれども、これは何かお考えがあるんでしょうか。そういう国の方向性か何かがあるんでしょうか。</p>
井上（委員長）	<p>はい、その件につきましても、後でまとめて回答させていただきます。</p> <p>ございませんか。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
坂田委員	<p>はい、どうぞ。</p> <p>神崎町の坂田です。</p> <p>先ほどと同じ質問に、重なるんですが、先ほど31ページでしたが、29ページですかね、上の四角の中、3の少子高齢化の中で、これも四角の中の下から2行目のとこで、3行目ですか、下からの行から3行目、ソフト面では、集落の再編や人材の育成等によるという、ここで集落の再編が出てきておりますんで、この辺のところはお聞きしたいなと、どういう意図か。</p> <p>それと、その2行目の後ろの方で、先ほどもちょっと言いましたけども、基幹産業の育成という表現になっておりますんで、これはちょっとどうかなあというふうに思います。</p> <p>これと関連して、30ページの2のところの2)の考えられる効果、下から2つ目の四角ですけども、ここではちゃんと新しい基幹産業の創造に向けた体制・組織の強化、これはもう言うことないということで、うまいことまとめてあるなと思うんですけども、ちょっと29ページの上のところは、ちょっと端的な表現になり過ぎとんとちがうかなと、このように思いますんで、この2点ちょっとお聞きできたらなと、このように思います。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p>
浅田（事務局）	<p>はい、どうぞ。</p> <p>それでは、ちょっと一度、3人の方からご質問が出ました件について、こちらの方でご回答させていただき、また皆さん方のご意見を聞き、修正できる部分についてはさせていただきたいというふうに考えております。先ほどのまちづくりの課題も含めてなんですけれども、この計画づくりについては、やはり皆さん方のそういったいろんな声、そういったものを大切にしながら、みずからつくる計画といったものにしていきたいという一つの基本的な考えがございますので、どんどん活発なご意見をちょうだいしたいというふうに考えております。</p> <p>まず、今出ました3人の方のご意見のお答えになるかどうかわかりませんが、まず山下さんの順番づけはどうなっているのかという点なんですけれども、全国的に見ましても、また両町におきましても、この4つの課題、地方分権、そして広域的課題、少子高齢化、厳しい財政事情、どれをとっても優先順位をつけることにはなりません。したがって、この4項目については順位等を考えず、どれも重要視さ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>れた大きな問題であるというふうに考えております。</p> <p>そして、それとのリンクという形での効果と課題、このあたりについては、再度こちらの方も先ほどのご意見を十分に参考にさせていただきながら、流れといたしますか、そういったものを考えていきたいというふうに思っております。</p> <p>それから、藤原委員さん並びに坂田委員さんからご質問が出ておりますこのまちづくりの課題、また合併の必要性といった中での、特に集落の再編、この文言についてですけれども、これにつきましては合併する中で、いわゆる両町にございます行政集落、そういったもののいわゆる再編・統合といったことも今後は大きな課題になるのではないかとこの部分でとらえてはおりますけれども、やはりこの小さな集落同士が一つになるということは、なかなか大きな市や町が合併するよりも難しいという認識はいたしておりますので、このあたりの表現上の内容につきましては、もう少し検討を加えていきたいというふうに考えたいと思います。</p> <p>なお、先ほど言われましたように、それぞれの課題、必要性、そういった言葉じりの紋切り型とか云々、また課題・要因、そういったものにつきましても、やはりわかりやすくできるようにしてまいりたいと思いますので、お願いしたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
高橋委員	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>よろしゅうございますか。</p> <p>ほかに。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>神崎町の高橋です。</p> <p>30ページの考えられる効果の中の2番の点のところ、こういうのを入れてもろうたらどんなやろうなと思うてしとんですけども、どうしても農業の方針、一番大きな柱は米づくりだと思うんです。この地域で米をほかに何かあるんかということで、米づくりの歴史等を振り返って米づくり、それから米と切り離すことのできない森の手入れ、それからそこへ流れてくる川、川の価値、そういった内容のものをこの文章の一部に入れていただいたら、より具体的になるんじゃないかと思えます。</p>
井上（委員長）	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにございませんか。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
日和（副委員長）	<p>はい、どうぞ。</p> <p>大河内の日和でございます。ご質問を申し上げます。</p> <p>31ページの3番の下の方の効果を発揮する課題の中の下の方の方ですが、行政施策・事業の優先順位を判断するためのシステムづくり及び4番の同じく効果の中で、その一番下の方の意見を集約し、対策に取り組む組織や仕組みの構築、この仕組みにつきまして、どちらでもですが、先例がございましたら教えていただきたいと、ご教示願います。</p>
井上（委員長）	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにございませんか。</p>
浅田（事務局）	<p>はい、どうぞ。</p> <p>先ほどの高橋委員さんのご意見といたしますが、表現のつけ加え、そういったものも大変大切なことですし、合併の効果と課題という部分で、その辺あたりからも十分に一度検討してみたいというふうに思っております。</p> <p>それから、日和副委員長の方からご質問がございました、まずシステムづくりというふうな点で、あるのかないのかという部分ですけれども、これにつきましては現在神崎町の方では行政レベルで行政評価システムといったものを取り入れられてされておりますけれども、大河内町の方では特にございません。また、そういった住民からの意見集約をする仕組みといたしますが、こういう組織、こういったものにつきましてはそれぞれの分野ごとには匹敵するものがあるかもわかりませんが、そういった広域的な問題に対してといったものに対する取り組みをする組織的なものは、両町には多分現在のところ存在していないというふうに思っております。</p>
井上（委員長）	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p>
日和（副委員長）	<p>どうぞ。</p> <p>他町での先例はございませんでしょうか。</p>
浅田（事務局）	<p>詳細を調べておりませんが、大きな姫路市とか神戸市、そういったところではNPO法人という形で、それぞれ独立した団体は数多くあると思うんですけれども、例えばこの郡内の状況をちょっと思い浮かべましても、そういった組織的なものは存在しないのかなというふうな、これははっきりわかりませんので申しわけないんですけれども。大変申しわけございませんが、質問の答えにはなってないと思</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>いますけれども、そういう状況でございます。また、そういったあたりにつきましても、調査をさせていただきたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>ほかに。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ほかに意見がないようでございますので、次、32ページからの新町建設の基本方針について、事務局から説明をお願いをいたしたいと思います。</p> <p>事務局、お願いをいたします。</p>
吉岡（事務局）	<p>失礼をします。</p> <p>そしたら、32ページから大きな項目3番、新町建設の基本方針ということで、これも前回から変更した分につきましてアンダーラインを入れてお示しをさせていただいております。ワークショップ等の意見を特に反映させたいということで変更を加えました。変更の部分のみの説明をさせていただきたいなと思います。</p> <p>まず、32ページの中ほど、四角囲みで地域の特性、対応が求められる課題ということで網かけをかけて項目を立てております。その丸の2番目で、地域の主要産業である農林業ということで、今回は基幹産業としておったんですけども、ワークショップのまとめをよく見てましたら、その中で将来的に農林業について基幹産業というふうに望んでくれるのかどうかということについて、望む人が多いのかどうかという疑問があるんだというようなことがありましたから、ここは主要産業にしようかなということで、主要産業にさせていただきました。</p> <p>次に、多数の観光施設・資源というところがございまして、そこで施設の特色化による地域住民自身による利活用促進、観光メニューやイベントの充実、観光ルートの確立ということで、これもワークショップの意見の中で、地域住民自身が観光施設、これについて利用してないのではないのかなというような意見がございましたから、書かせていただいております。</p> <p>次に、高齢者の増加ということで地域の特性、高齢者の増加ということで、ここで出歩きやすい環境整備や生きがい創造の場づくりというふうにさせていただきました。その下の黒点につきまして、日常的なコミュニケーションと非常時の迅速な対応ということで加筆をさせていただきます。</p> <p>次、若者層の地域外への流出というところで、就業の場の確保や子</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>育てしやすい環境づくり、そして下の黒点で、地域風土と調和したライフスタイルの創造というふうにさせていただきました。</p> <p>次に、充実した生涯学習・スポーツ施設ということで、対応が求められる課題につきまして、ここで各施設の特色化「や」を加えて、ニーズに応じたサービス内容の転換、そしてだれもが参加しやすい活動の場づくりということで、これもワークショップの意見を後で見まして、入れさせていただきました。</p> <p>1つ飛ばして少子化の進展です。ここは全面的に変えさせてもらって、2つの項目、1つ目の黒点が、地域全体で子どもたちを守り、育てていく体制づくり、2つ目の課題として、子ども同士がふれあう機会の充実というふうにさせていただきました。</p> <p>下側で合併の効果というところで、前回、丸の2番目で、小さいとこですが、農業林業としておったんですけど、農業・林業に係る広域的取り組みの促進というふうにさせていただいて、真ん中ほどにアンダーラインを入れていますが、広域的な視点からの作業体制の構築や担い手の確保というふうにさせていただきました。</p> <p>そして次に、丸で効率的な公共投資、効果的な人員・施設配置というところで、下側の黒丸のところ、さっきも話が出ましたが、公共投資に対する評価システムの導入や住民・事業者等の連携による施策推進というふうに加筆をさせてもらってます。</p> <p>あとは自立心の高い人材・組織の育成については、そのままでございます。</p> <p>ここを表の表現で変えたところに加筆を加えたというところであります。</p> <p>次めくっていただいて、次は地図の出てまいります33ページ、2番、まちづくりの将来像(案)なんですけども、ここで前回は心臓、真ん中辺、「心臓」には浄化された血液をさまざまな臓器へと送り届ける役割がありますというところでご意見をちょうだいいたしまして、心臓は血液を浄化するものではなくて、浄化された血液を送り届けるということで、心臓というのは血液を浄化するわけではありませんよという指摘を受けましたから、ありがたく意見をいただいて、訂正をさせていただきました。</p> <p>そして、ここにハート形をつけて注釈を大きく書いてます。「ハートがふれあう住民自治のまち」ということで、単にハート形という地形をイメージしたものだけではなくて、ここに書いてますように、『ハート』は「心」や「愛情」を意味する言葉であり、また「心臓」</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>という意味からは「生命」や「循環」といった言葉が連想されます。新町を『ハート』になぞらえたのは、単なる見た目だけではなく、このような『ハート』の持つ意味やイメージが新町のまちづくりの将来像や方向性にもマッチするのではないかという気持ちでハートと、「ハートのふれあう住民自治のまち」のハートはそういう意味合いが入っているんですよということでございます。</p> <p>次に、まちづくりの目標ということになってます。特に、前回意見が出ましたのは両町の特徴、そういったのを出した形で、ただちょっと漠然としてますよというご指摘を受けさせていただいて、ちょっと踏み込んだ形で変えさせていただいてます。</p> <p>まず、まちづくりの目標1、「愛・やさしさ」～子どもからお年寄りまで、豊かな愛情・やさしさにつつまれるまち～ということで、1つ目の黒丸、子どもたちが県立自然公園に属する豊かな山林や高原、蛍やアマゴ、アユが生息する清流など、地域の自然と触れ合い、学校・家庭・地域の愛情に守られて、生きる力や創造力、人に対する思いやりなどを身につけることのできるまちを目指します。</p> <p>2つ目が子育て世代が地域の支え合いの中で安心して子どもを育てられ、生活や就業上の利便性と都市部では実現できない「スローライフ」の両方を享受できるまちを目指しますということで、ここでスローライフというように片仮名の非常に難しい言葉を入れておるんですが、ここもアスタリスクを入れさせていただいて、すぐ囲みの下に注釈をつけ足しております。読み上げますと、スローライフとは、速さ、効率優先、経済至上主義、大都市集中をよしとする考え方と対極にある概念で、地元とのつながりを大切に、生活スタイル全体がゆっくりとしていて、人間性にあふれたゆとりある心豊かな社会ということで、これをまちづくりの目標の1番目に入れさせていただいたということです。</p> <p>次に、高齢者が家族の愛情に支えられながらということで、前回の指摘を受けて、家族の愛情という言葉は是非入れた方がいいのではないかなというような話がありましたから、ここで入れまして、高齢者が家族の愛情に支えられながら、子どもたちとのふれあいや地域文化の継承に携わるなど、いつまでも地域社会における生きがいを見出せるまちを目指しますということで、ここで変更をさせていただいております。</p> <p>次に、まちづくりの目標2番、「命・いきいき」～自然の恵みと共に生き、力強い命の躍動・活力をはぐくむまち～ということで、ここ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>はもうほとんど全面改定をさせていただいております。全文を読み上げたいと思います。</p> <p>1つ目の黒丸が、山林や農地、清流がというところで、非常に川がきれいという印象を、外からお見えになったお客さんはまずそういうことを感じられるらしいんですけども、そこで清流というふうに入れました。清流が、豊かな生命の営みを育む土壌として、第1次産業の基盤として、そして地域の個性ある風景として、さまざまな人々の活動と共生するまちを目指します。</p> <p>2つ目の黒丸、地域の家庭や学校、観光施設等で消費・使用される食材・建材等は、できる限り地域で自給していくなど、地元生産者と消費者の顔の見えるまちづくりを目指します。</p> <p>3つ目の黒丸、地域で営業展開する事業者が、雇用の確保や地域資源の活用に加え、自然環境の保全や住民の健康創造などの地域福祉の向上に寄与し、住民や行政とのよりよい協力環境を築くまちを目指します。</p> <p>最後の黒丸、中央公民館における芸術や文化活動や、はにおか運動公園、グリーンエコー笠形等におけるスポーツ活動等を通じて、学び、創造、交流の楽しさを感じ、地域社会への誇りや生きがいを感じられるまちを目指しますということで、大きく変えさせていただきました。</p> <p>次に、まちづくりの目標3、「心・ふれあい」～住民どうしの顔が見え、人と人との心のふれあいが生まれるまち～というところで、ここは前回と比べまして3つ目の黒点、ここで加筆をしております。都市の住民や子どもたちなどが、地域の自然や人々のもてなしに触れということで、特にワークショップでももてなしの心とかというのは言われておりましたので、ここでこれを入れました。峰山高原ホテルやモンテ・ローザ、新田ふるさと村などの宿泊施設を利用しながら、心身の生気を養うなど、長期滞在者を積極的に受け入れるまちを目指しますというふうに変えさせていただいております。</p> <p>次に、35ページに参りまして、新町の都市構造図ということで、1、広域的な位置付けというところなんですけれども、ここで最初の丸、周辺地域との連携による地域課題への共同による取り組みというのを上げさせていただいておるんですが、この中の一番最初のとこ、西播磨地域、中でも宍粟郡は森林文化を有しており、森林資源の保全・活用、林業の振興といった地域課題に対して、広域的な担い手組織の立ち上げや交流のネットワーク化を図るなど、協力して取り組ん</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>でいくことが可能ですというふうに変えさせていただいています。</p> <p>2つ目の黒丸、これも加筆をしとんですが、北播磨地域、丹波地域は、田園文化を有しており、農業の振興、農地景観の保全といった地域課題に対して、特産品市の共同開催やPR、地産地消の圏域づくりなどに、連携・協力して取り組んでいくことが可能ですということで加筆をさせていただいています。</p> <p>あとの黒丸については、特に変更ございません。</p> <p>次の丸のところで、交流の圏域づくりという大きな項目があるんですが、ここを加筆をさせてもらって補強をしたということです。大きく加筆してますんで、すべて読みます。</p> <p>以上のような周辺地域との連携を進めながら、兵庫県の中山間地域における交流の圏域づくりに取り組みます。特に、これまでは市川水系や郡としてのつながりを背景とした南北方向の交流が中心でしたが、新町はハートを形成する左右2町の合併により誕生することから、旧町間の連携を強化することで、中山間地域における東西方向の交流の要所としての役割を果たしていくことも期待をされますというところで変えさせていただいております。</p> <p>そして、あと36ページの部分は校正をしてません。そのまま上げさせていただいております。</p> <p>小さなことなんですけども、37ページの主要指標の見通し、これは人口と世帯の見通し、将来の見通しの部分で、実は年少人口、生産年齢人口、老年人口というところで、これの注釈を新たにつけたのと、表の方で、これ率ですから、例えば年少人口、平成2年については18.5、これはパーセントですからね。比率という漢字をつけ加えたのと、右肩の単位のところに、人、%ということで入れさせておまして、これはこちらのミスでございまして、まことにどうも済みませんでした。ここを変えさせていただいております。</p> <p>世帯の見通しは、特にさわってございませんというところで、以上で説明について終わらせていただきたいと思います。どうも済みません、ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>説明が終わりましたので、ここで10時25分まで休憩をさせていただきます。よろしく願いをいたします。</p> <p>午前10時10分 休憩</p> <p>午前10時25分 再開</p>
井上（委員長）	<p>それでは、休憩を解きまして、ただいまから会議を始めたいと思い</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
奥野（恒）委員	<p>ます。</p> <p>先ほど新町建設方針につきまして細かく事務局が説明をしております。大変重要な事項でございますので、委員の皆さんの積極的なご意見をお願いを申し上げます。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、先ほどの説明につきましてご意見がある方、どうぞお願いをいたします。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>神崎町の奥野です。</p> <p>32ページの「新町建設基本計画方針、地域の特性」ということで、豊かな自然からずっとこう上がっておるんですが、多数の観光施設とか資源というところですが、神崎町、大河内町それぞれ歴史がありまして、古墳があったり、また神社があったり、そういった施設というのは、芸術文化的な言葉で一括してしまえばそれでええわけなんですけど、ちょっと具体的に観光施設の中にそういった文化的なもの、こういったものを具体的に入れておくというようなことが必要やないかなというふうに思うんですが、例えば播州の赤穂とか姫路城とか、そういった全国ネットに通ずるような観光資源があれば非常にありがたいわけなんですけども、残念ながら東柏尾の薬神さんとか立岩神社だとか、その各町にありますような施設をもう少し連携を取って、新しい交流施設へ結びつけていく必要があるんで、ここの辺の地域の特性とか、そういった中へ明確にしていく必要があるんでないかなということをおもうんです。</p>
井上（委員長）	<p>そういうことで、ちょっと私の考え方を案としてですね。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
高内委員	<p>大河内の高内です。</p> <p>32ページの「新町の基本方針」の中で、地域の特性と対応を求められる課題とあるんですけども、これ現実にこれを特性、課題というか、これがすごくこういうふうになるんですけども、しかしながらこれをどないするのかというような一つの要素というもんが全然なくて、ただ抽象的にこういうことがずうっと書き並べてあるだけで、今後これを補正の段階からいかに今から持っていくんかどうか、その辺をどのように考えられておるんか。ただこれ書いてあるだけであつたら、まともな、全くそのとおりであって、これをどないするのかという一つの施策というもんが全然見受けられんのですけれども、ただここ書き並べるだけやったら何の意味もないことやしするんで、それ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>をこの課題をどのように消化するんかということはいつやられるんか、その辺もうちょっとお聞かせ願いたい。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>この件につきましても、後ほどもう少し時間いただいて、その後でご報告申し上げます。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
坂田委員	<p>神崎町の坂田でございます。</p> <p>先ほど奥野（恒）委員の方から話がありましたように、観光施設、資源とかというようなところがあるわけですが、今高内委員からおっしゃったところの新町の地域の特性を生かした対応というんですか、課題を、特性を生かした課題という取り組みなんですが、先ほど奥野（恒）委員からおっしゃった売り出さぬ多数の観光施設という表現ですね。先ほども高内委員がおっしゃったと思います。歴史的な施設とか文化施設とか、そういうものを、あるのを観光の方に持っていくんやと、両方、既に観光の施設やないわけなんで、文化施設であり歴史的な施設であり資産であると。それを観光にいかにかっていくかという、そういう施策でなかったらあかんで、やっぱり表現はそういうふうに考えていただいたらどうかなというふうに、私の意見ですけども、ちょっと端的に何かずっと並べてるというんですか、表現し過ぎてるんで、そういうふうになるんじゃないかなと。まとめて書くと、どうしてもそういうふうになってしまうんで、ちょっと気にひっかかるかと、今のお二人の意見を聞いてそう思いました。</p> <p>それから、ついでにあと二点ほど質問していいですか。33ページの真ん中辺の行が半分になるとこですけども、「子どもからお年寄りまでのすべての人が、地域の「愛」を感じながら生涯を謳歌し」、なかなかええ言葉でちょっと来とるわけですけど、私もそういうふうになりたいなと思うんです。</p> <p>34ページの「愛・やさしさ」のところで、上から3つ目のチョボのところで「高齢者が、家族の愛情に支えられながら」と、こういうふうに、これ訂正、修正されて「家族」が入っておるわけですけど、前の先ほど言いましたところは「家族」が抜けておるんで、その辺のところを整合性を図った文章に、ほかにも何か確認があったかと思うんですけども、ちょっと修正されるときに、もうちょっと整合性を図ってやっていただきたいなと、このように思います。</p> <p>それからもう一点、ついでにお願いしておきたいんですが、質問したいんですが、36ページの新町の地域構造の中のゾーンの街中交流</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ゾーンというところでございますけれども、ここの中の2行目の真ん中から「新町の玄関口として、交通機能の充実を図ります」と、この「新町の玄関口」という表現がどうも私としてはちょっと表現的に、橋を渡るときにどっちが表でどっちが後ろかというのと一緒に、橋の場合は渡ったら動きがありますけれども、新しい町の玄関口というたら、裏口は後ろの正面だあれみたいなことになってしまうし、横の川は勝手口には入らんと、やっぱり余り表現的には適切でないんじゃないかなと、こう思うんですが、これは皆さんのご意見を検討していただいたらと思います。</p> <p>単なる意見でございますので、よろしくお願いします。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
浅田（事務局）	<p>それでは、先ほど3名の委員さんからご質問なりご意見という形で承ったんですけれども、その中に何点か、この方針等に係るご質問というふうなことだったと思いますので、お答えしたいと思います。</p> <p>まず、高内委員さんの方から出ました新町建設計画の特性並びに課題というところでの、これをどうまとめていくんだと、どう対応していくんだというところなんですけれども、後ほどご説明させていただきます中で次回、先ほどの心臓部を中心とした3つのハート形の項目、この中の分野を各委員さん分かれていただいて、ワークショップという形で分野が少し変わるかもわかりませんが、いろんな箱物を造るという施策よりも、むしろ先ほど課題の方で出ておりました人づくりとか、そういったものもあわせたワークショップというものを次回に開催をしていただいて、いろんなご意見を賜りたい。そして、そういった意見の中で主な施策、そういったものを反映してまいりたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>それと、奥野（恒）委員さん並びに坂田委員さんから出ておりましたご意見、ご質問、もう少し文言、確かに箇条書きにすれば端的に、その中に含まれておるんだらうというご理解をいただく中で、もう少し表現的にそういった大きな項目、歴史、文化、そういったものを含めてはどうかというご指摘だったと思いますので、なるべくそういったものと両町にございます観光施設の一体化、そういったものを含めながら、もう少し表現の取り扱いを検討してまいりたいというふうに考えますので、よろしくお願いいたします。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
日和（副委員長）	<p>大河内の日和です。</p> <p>資料の33ページの中ほどにございますが、「子どもからお年寄り」というところから始まってまして、途中「力強い「生命」や活力を育み」というのがありますが、ここで「力強い」という言葉が出ております。</p> <p>次に、34ページでございますが、まちづくりの目標は「ハートがふれあう住民自治のまち」ということで、私のイメージとしましては、この「やさしい」ということはもちろんいいんですけども、少したくましさといえますか、力強さがあってもいいのではないかなと。</p> <p>そういうところから、2番目には先ほども言いました言葉と前ページと同じような表現になっておりますが、「力強い命の躍動・活力をはぐくむまち」というふうにあります、これで力強いということの表現になっておろうかと思っておりますが、さらに申し上げますなら、3番の「心・ふれあい」の中の一番下の欄にありますとおり、「播磨と但馬の交流点として」とありまして、「東西南北様々な地域との連携の強化による」その要所になるという、こういうこと。</p> <p>さらに、35ページの2つ目の丸の交流の圏域づくりの中で、特に南北の交流については当然忘れてはならないことではありますが、さらに東西方向の交流の要所という、こういうことをもう少しの強化対策にするというふうにこれは表現されていると思っておりますし、私もそう思います。</p> <p>したがって、力強い」という意味を含めるために、この3番の先ほど申し上げました一番下の欄を基準にいたしまして、このハート形に対して、東西ということですから、人間に例えれば両腕と、両腕がいわゆる東西の地域等との交流ということになるかと思っておりますので、図にかくとかそういう意味ではございませんけれども、少し両腕をイメージした力強さというのを特に3番の一番下の中に表現してもらえたらなと、追加していただいたらなというふうに考えます。</p>
井上（委員長）	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>はい、どうぞ。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
奥野（恵）委員	<p>神崎町の奥野でございます。</p> <p>34ページのまちづくりの目標の中には、いろんな施設が具体的に上がっているんですけども、前回まではこれは、前回の資料では一番そのあたりの最後のところに既存施設を見直すということがありました。是非ともこのあたりは目標としまして入れていただきまして、やはり新しい町の財務的なところにも問題が出るだろうと思いますので、項目を是非とも入れていただきたいというように思います。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p>
難波委員	<p>はい、どうぞ。</p>
難波委員	<p>神崎町の難波です。</p> <p>33ページの上から4行目なんですけども、「兵庫県の「心臓部」としての役割を」と書いてございますけども、以前にいただいた資料の中に兵庫県神崎町と大河内町の人口の兵庫県に占めるシェア、あるいは公共施策に占めるシェアが0.1%程度であるということを考えたり、あるいは高速道路あるいはJRが通っているか、交通環境は他の市町もそれぐらいのことはある中で、あえて「兵庫県の」とつけているところについて少し現実と離れているんじゃないかなと思います。</p> <p>「心臓部としての役割を担う」ということについては、すごく期待があっていいかと思えますけども、「兵庫県の」とつけることについては、少しどうかなというふうに感じております。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに。</p> <p>ございませんか。</p> <p>その他、特にないようでございますので、これまでまちづくりの課題、合併の必要性、また新町建設の基本方針につきまして、いろいろなご意見をいただきました。これらの意見につきましては、それぞれ十分配慮した該当の箇所に盛り込んでいただきますよう事務局をお願いを申し上げます。</p> <p>そこで、委員の皆さんにお諮りを申し上げますが、この後の整理につきましては事務局に任せたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>事務局に任せることにご異議ございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございます。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局）	<p>それでは、今までいただきましたそれぞれ委員の皆さん方の貴重な意見を該当するところに盛り込んで整理をしていただきたいと、かように思いますので、よろしく願いを申し上げます。</p> <p>次に、新町における主要施策について、事務局、願いをいたします。</p> <p>ご説明申し上げます。</p> <p>それで、その前に先ほど難波委員さんの方からご質問がございました兵庫県という名称なんですけれども、この計画、両町並びに県内であればカットしてもいいかなと思うんですけど、一応国の方にこの建設計画が出てまいりますんで、できればそういったあたりでも兵庫県というものは使える箇所では使っていきたいなというふうに思いますので、ひとつご理解を賜りたいと思います。</p> <p>それでは、本日3つの項目についていろいろご協議いただき、ありがとうございました。これらの本日いただきましたご質問並びにご意見、そういったものを十分反映させながら、事務局の方で十分に調整をしてみたいというふうに考えております。</p> <p>そして、お手元レジュメに書かせていただいておりますけれども、いよいよこの新町建設計画につきましても後半部の、いわゆる先ほど言いました心臓部分に入っております、いよいよ主要施策といったあたりに入りたいというところで、先ほど高内委員さんの方からご質問がございましたように特殊性に対する課題、そういったものを委員さんに再度ワークショップという形で次回お願いをしたいというところでございます。</p> <p>その日時、場所につきましては、表紙の会議次第に書いてございますように、7月14日、平日、水曜日になるんですけれども、この日は1日かけて9時から5時まででやらせていただきたいというふうに考えております。</p> <p>そして、その概要につきまして、お手元資料40ページの次にまた新たに1ページということで、新町建設計画小委員会協議資料ということで、主要施策の検討に向けた提案のお願いというところでございます。</p> <p>この建設計画の中には、これまで両町の現状、そして先ほどの課題、合併の必要性、そして新たな町の基本方針といったものが、うっすらではございますが、見えてきたと思います。</p> <p>そういった中で、じゃあどういふふうな施策が今後必要なのか、また将来に向けてやっていく必要があるのかという部分を各委員さん方</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>にひとつご意見をいただきたいというふうに考えております。</p> <p>そして、その1ページの真ん中あたりに二重線でアンダーラインを引いております。「住民と行政が一体となって進めるソフト的な取り組みが重要である」ということで、当委員会も両町から6名ずつの委員さん、12名の専門的な委員さんにお入りをいただいておりますので、十分にご意見をいただきたいというふうに考えております。</p> <p>そして、ワークショップの方法なんですけれども、前回同様に3班に分かれていただきたいというふうに考えております。そちらの方は、一応資料を見ていただきまして、1ページから3ページにかけてワークショップの進め方を掲載させていただいております。</p> <p>まず、班編成なんですけれども、3ページの大きな方で書かせていただいております。1班、2班、3班、それぞれ分科会長さんは、そのままかえずに、各委員さんを該当、それぞれの分科会から私の専門範囲じゃないと、私はこういう分野はちょっと苦手だという部分があるかも知れませんが、一応こちらの方で大変恐縮なんですけれども、事務局の方で班編成をさせていただきました。いろんな視点から新しい町の観点を見ていただくということで、1班につきましては坂田分科会長さんを中心に藤原鉄也委員さん、児島英雄委員さん、大谷郁雄委員さん、堀口勝久委員さん、立岩三代子委員さん、井上隆弘委員さん、山下和彦委員さんの8名でお願いをしたいというふうに考えております。</p> <p>2班は、高内直喜分科会長さんを中心に岩本精介委員さん、松山陽子委員さん、高橋勝洋委員さん、井上秀男委員さん、奥野恒夫委員さん、中山祐美子委員さん、大中康寛委員さん、大仲正記委員さん、藤原日順委員さんの計10名でお願いをしたいというふうに考えております。</p> <p>そして3班の方は、藤原博一分科会長さんを中心に日和貞憲委員さん、廣納正委員さん、難波義博委員さん、藤原安晴委員さん、奥野恵作委員さん、尾上徳美委員さん、西畑強委員さん、上垣博委員さん、小寺敏樹委員さんの計10名で分科会に入っていただきたいというふうに考えております。</p> <p>そして、分科会なんですけれども、今回先ほどのまちづくりの3つの大きなテーマ、第1班が「愛・やさしさ」ということで、その下に書いてございますように「子どもからお年寄まで、豊かな愛情・やさしさにつつまれるまち」という大きな目標の中で4つのまちづくりの視点ということで、そこに箱に書いてございます「子どもたちが地域</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>の愛情にまもられて育つまち」「地域風土と調和して暮らせるまち」「高齢者や障害者が生きがいをもって暮らせるまち」「誰もが不自由なく安心して日常生活を過ごせるまち」ということについての視点と いいますか、考え方を一つのペーパーに落としていただきたいということで、本日各委員さん方には事前にその記入いただくペーパーを配付をさせていただいておりますので、記入例も若干書かせていただいております、本当に夏休みの宿題と言ったら大変恐縮なんですけれども、日のない中でお願いをいたしますけれども、よろしく お願いいたします。</p> <p>そして、参考の例の方には提案に対してのキーワードということで、施策の柱、そしてキーワード、いろいろ大変わかりにくい横文字も入れておりますけれども、こういったことを一つの柱またキーワードという視点からとらえていただいて、それぞれの思いでご記入をいただき、次回ご持参いただくということでお願いをしたいというふうに思っております。</p> <p>そして、第2班の方は「命・いきいき」ということで「自然の恵みと共に生き、力強い命の躍動・活力をはぐくむまち」という大きな柱のもと、4つの項目「美しい自然・地球環境と共生するまち」「生産者の顔が見える農林業のさかんなまち」「地域に根ざした事業者活動の活発なまち」「心身の健康、生きがいをはぐくむまち」という4つの視点から、先ほどと同様に右側の柱またキーワードといったものを参考にしながら、ひとつ思いを書きいただきたいというふうに考えております。</p> <p>そして、第3班の方は「心・ふれあい」ということで「住民どうしの顔が見え、人と人との心のふれあいが生まれるまち」という大きな柱で、「安全・安心を支えるまち」「住民が主体となって地域づくりを 実践するまち」「来訪者・観光客とのふれあいを大切にするまち」「広域的な交流がさかんなまち」という4つの柱から、右側の施策の柱またキーワードを参考に、本日配付をさせていただいておりますペーパーに、大変恐縮ですけれども、記入をいただき、次回ご持参いただ いてワークショップを開催したいというふうに考えております。</p> <p>冒頭に申し上げましたように、当新町建設計画は住民の声というものはアンケートという方式をとらず、各委員さんの中である程度幅広い視点から意見等を聞き、それを取り上げるという方針を持っておりますので、ひとつ大変お忙しい中ではございますけれども、よろしくご協力をお願いしたいと思います。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>事前に配付をしております用紙は参考例も書いてございますので、そのあたりもご参考にしていきながら、ひとつご記入をお願いしたいというふうに思っております。</p> <p>そして、次回の分科会、大変ハードな日程になるんですけれども、昼食の方も少し用意をさせていただくということで、坂田委員さんの方で少し特産のそばを打っていただき、また神崎フードのお握りというふうなもので、昼食の用意もさせていただく予定にしております。</p> <p>1日かけて何とか早く進めたいと思いますので、各委員のご協力をよろしくをお願いしたいというふうに思っております。一番大きな柱になってまいりますので、できるだけ多くのご参加をお願いしたいというふうに思います。</p> <p>以上、簡単ですけれども、説明を終わらせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局から説明がございました前回のワークショップにつきましては、行政分野の縦割りの課題について意見交換をしていただいたところがございますが、このたびの主要施策につきましては、各行政施策を横断的な切り口で検討また意見をいただくというように理解をいたしました。このことについて委員皆様のご意見あるいはご質問をいただきたいと思っております。</p>
奥野（恒）委員	<p>ございませんか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>神崎の奥野です。</p> <p>ワークショップをまたやってこれ1日かけて、結論がその日に出るとか出んとかということはまだわからんと思うんですけれども、何回も寄っていつかは出さなきゃいかんと、どういう段取りでいつごろにその結果を出すとか、ちょっと見えにくいです。問題がようけ出てきたらまたやり直しということになってはいかんの、その辺を次のぐらいにはここまでやるんだとか、答えとして言いにくいこと知ってるんですけどね。</p>
井上（委員長） 浅田（事務局）	<p>はい、どうぞ。</p> <p>前回のワークショップと同様に、できましたら1日かけて何とか形的には不意があってもおさめたいなという気持ちは持っております。</p> <p>しかしながら、前回の小委員会で課題、必要性、新町の基本方針、ちょっと内容が余りにも私どもがワークショップやった意見と違う部分が多いというふうな意見が多く、本日同じことを2回目やったということもございますので、その当時の状況によりまして、当日の状況</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長） 奥野（恒）委員	<p>によりまして、完成しないものについてはまた次回とか、それぞれ3班の中で最終的に結論が出なかった、継続になったというものは、また班ごとに違う日に設定をしていただくとかという形で、臨機応変に対応していきたいなというふうに考えておりますけれども、それによろしいでしょうか。</p> <p>奥野さん、よろしいですか。</p> <p>実は、その日に差し支えがあって出席ができないような予定が出とんですけど、その場合はこれ一応自分の意見、考え方を提出したらよろしいんでしょうね。で、残りの出席者の方で検討していただくということでよろしくをお願いします。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>ほかにないようでございますので、先ほどご説明がございましたように、次のワークショップにつきましては、所定の用紙にご記入をいただきましてお持ちをいただきたいと思えます。</p> <p>また、私の方からお願いするんですけれども、万一欠席をされる方につきましては、所定の用紙に記入をしていただきまして、事務局の方へ事前に届けていただきますようお願いを申し上げます。よろしく願いをいたします。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
浅田（事務局）	<p>それでは、本日はありがとうございました。</p> <p>その他ということで、本日の委員会第6回ですけれども、第7回を先ほどご説明申し上げましたように、大河内の保健福祉センターの方で、大変恐縮ですけれども、1日かけて何とかある程度の格好をつけたいというふうに考えております。</p> <p>そして、その週の土曜日、17日には合併協議会、これも大河内の保健福祉センターの方でさせていただくというふうに続きますけれども、よろしく願いしたいと思えます。</p> <p>そして、これも先になるんですけれども、月末は7月28日、申し合わせのとおり水曜日になるんですけれども、当会場の方で協議会を開催をさせていただきたいというふうに思いますので、あらかじめ日程の方を押さえていただきたいというふうに思います。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後の日程につきまして事務局の方からご連絡をいただきました。非常に委員の皆様方、大変にお忙しい方ばかりでございますけれども</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>も、よろしく願いをいたしたいと思います。</p> <p>次回は7月14日水曜日午前9時から大河内町の保健福祉センターで開催をいたします。説明がありましたワークショップが予定されております。委員の皆さん、大変忙しく、また夏本番の暑い盛りでもあります。どうかご協力をいただきまして、新町の主要施策を思い描いていただきまして、よろしく願いを申し上げたいと思います。</p> <p>それでは、第6回の新町建設計画小委員会を閉会をいたします。</p> <p>まだ梅雨の時期でございます。天候不順でもございますので、体調管理には十分気をつけていただきますようお願いを申し上げます。</p> <p>本日は本当にご苦労さんでございました。ありがとうございました。</p>